

第20回奈良県新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

日時:令和3年5月10日(月) 13:00~14:20

場所:第1会議室

(本部長:荒井知事)

*配付資料に基づき説明

1. 近隣府県の緊急事態宣言の延長を踏まえた、奈良県の緊急対処措置の延長について
 2. 効果的な感染防止策の確定と徹底
 3. 医療提供体制を護る措置
 4. ワクチン接種の早期展開
 5. 県民・事業者に向けた追加の取り組み、お願いについて
- ・当日の全国知事会での知事発言要旨

(谷垣産業・観光・雇用振興部長)

*時短要請について

- ・5月12日以降に時短を要請する市町村は、本日10時現在で、資料記載の9市町。第一期と同様。
- ・今後、早急に、県としても特措法24条9項による時短要請を行いたい。
- ・協力金支払いに係る臨時交付金(協力要請推進枠)が充当されるよう、国に対して積極的に協議を進めていく。

*雇用調整助成金等への上乗せ支援について

- ・本年5月、6月分の雇用調整助成金等の助成率が10分の10から、10分の9に下がる事業主に対して、県として10分の1を上乗せ支援することについて、国の交付決定後、事業主からの申し込みに迅速に対応できるよう準備を進めていく。

(吉田文化・教育・くらし創造部長)

*ムジークフェストなら2021について

- ・今回の奈良県緊急対処措置の実行期間は5月31日までだが、ムジークフェストなら2021の実施期間は5月15日から6月6日まで。6月中の公演も含め、ムジークフェスト期間中の公演は無観客で開催し、公式 YouTube チャンネルなどで配信するので、今

年のムジークフェストはご自宅で楽しんでいただきたい。

*感染防止等を行う飲食店等の認証制度の創設について

・認証制度は5月末を目処に開始する予定だが、認証基準等はできるだけ早くお知らせし、5月末には飲食店等に最初の認証をできるように進める予定。

(石井福祉医療部長)

*高齢者のワクチン接種終了時期について

・総務省本日締切の再調査の結果、本日12時現在で、25市町村が、7月末までに接種を完了する見込み。

(杉中危機管理監)

本日は、奈良県立医科大学附属病院 感染症センター 笠原センター長にご出席いただいているので、お話を賜りたい。

(笠原センター長)

*効果的な感染防止策について

・新型コロナウイルス感染症は、重症になるイメージが強いが、無症状・軽症者が全体の9割を占める(資料 p.18)。軽い症状でも新型コロナウイルス感染症の可能性があり、そして、無症状・軽症者からも感染する、ということに注意が必要。一方で、基礎疾患のある方、高齢者、変異株感染者では重症化する。「うつさない」意識も持ち、ふだん同居していない人と対面するときは、マスクを着ける。

・家庭内感染を防ぐ七カ条(資料p.23)は、厚生労働省が昨年4月に作成した8カ条をもとに、奈良県版としてブラッシュアップしたもの。家庭内での感染が多くなっているため、注意いただきたい。無症状・軽症でも感染させると申し上げたが、そこまで家庭内で防止することは現実的ではないため、「症状が出てから」、家庭内で過ごす場所を分け、過ごす時間をずらし、マスクを着用する。自宅療養者や濃厚接触者のいる家庭でも活用可能。

・感染者は会食等には行っていないことが多いが、屋外での飲食や、会話時にマスクを外すことや、自宅でのお茶会など、「ついついマスクを外して対面になってしまう機会」(資料p.25)があったことがしばしばある。「マスク着用」だけでは伝わりにくい個別の場面を具体的に伝え、感染対策を呼びかけていただきたい。

・社会福祉施設等のクラスター対策は、昨年度にマニュアルを作成し、クラスターが発

生しないようにする実地指導を行っている。引き続き、社会福祉施設等でのクラスターを予防していきたい。

・奈良県新型コロナウイルス感染症対策強化事業「ならこびnet」では、ホームページを立ち上げ、ツイッター、フェイスブックで正しい情報を発信している。感染防止のための、正しい知識・情報に基づき、県民の皆さまに、正しい感染回避行動をとっていただくことにより、感染者の減少につながると信じている。発信にあたっては、報道機関にも協力いただきたい。

(本部長:荒井知事)

*笠原センター長に質問

- ・新型コロナウイルス感染症に「うつらない」対策だけでなく、人に「うつさない」対策が必要と考えるが、いかがか。
- ・香港や台湾など、ワクチン接種前から感染を抑えている国の方策に特徴あるか。

(笠原センター長)

- ・感染症は、「うつす」と「うつされる」がセット。「感染しない」対策、「感染させない」対策は、共に重要。「うつさない」対策は、日本でも、世界的にも、軽視されているが、新型コロナウイルス感染症は、無症状・軽症者からも感染する。「うつらない」ことでは1人の感染者しか減らせないが、「うつさない」ことによって、たくさんの感染者を減らせる可能性がある。県民の皆さまに「うつさない」意識を持っていただくことで、感染者を減らしていけると期待。
- ・感染が拡大しているインドを含め調査して、県の対策に取り入れられる部分については、助言していきたい。

(杉中危機管理監)

- ・「うつさない」ための行動抑制を取り入れ、対策に取り組んでいきたい。

*「新型コロナウイルス感染症 第二期 奈良県緊急対処措置」について、全会一致で承認された。